

# 2022 年度事業所自己評価アンケート

## 利用者及び職員の結果公表及び改善方針の公表

2023 年 3 月

ルシッド・ドリーム株式会社 ぷっく旗の台教室

2018 年度より「児童発達支援ガイドライン」において、事業所の提供するサービスに対する評価項目が規定され、児童発達支援を行う事業所はそれに基づく評価を、利用者、職員が行い、評価結果及び改善内容を 1 年に 1 回以上公表することが義務付けられました。

2022 年度は、2023 年 3 月に利用者様のご協力をいただき評価アンケートを実施いたしました。

以下にアンケートの集計結果及びいただいたご意見、それに対する改善の方針を公表いたします。

## 利用者アンケートの結果

アンケート回答数（23名）（2022年2月の利用者40名に対して58%の回答率）

1. 環境と体制					
	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
1-1	活動のためのスペースは十分確保されているとおもいますか	23	0	0	0
1-2	職員の配置数や専門性は適切ですか	21	2	0	0
1-3	設備が使いやすく、子どもたちが活動しやすいと感じますか	22	1	0	0

### 【利用者からのご意見】

- ◎ちょうど良い広さだと思いました。
- ◎人気のある先生に子どもたち数人が集まっている様子がある。
- ◎ベテランの先生が退職されるので少し不安があります。

### 【ふっくとしての対応】

- ◎今年度は新型コロナウイルス感染症のために、一時的な職員の不足などご心配をかけました。体制の強化と安定を重点課題として改善していきます。

2. 支援提供					
	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
2-1	支援計画の内容がわかりやすく具体的で適切なものと思いますか	22	1	0	0
2-2	支援計画にそった支援が行われていると思いますか	21	2	0	0
2-3	子どもがあきないプログラムになっていると感じますか	19	3	0	1

**【利用者からのご意見】**

- ◎子供のそのときそのときに気になる行動や言動をよく観察していただいている。
- ◎支援内容は家庭でも参考にしていました。
- ◎自分の子どもが心から楽しんでいるのがわかりました。製作物も毎回感動しました。
- ◎当初の支援計画にそった支援に加えて、状況にあわせた支援がされている。

**【ぶっくとしての対応】**

- ◎支援内容とその実行については、理解をいただけているようです。
- ◎お子様のあきないプログラムを提供できるようにし、療育の質だけでなく通所を楽しみにしていただけるようにしていきます。

3. 保護者への説明責任等					
	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
3-1	契約時に、運営規程、契約について丁寧な説明を受けましたか	23	0	0	0
3-2	支援計画をもとに、支援内容の説明を受け、同意をされましたか	23	0	0	0
3-3	保護者が参加できる勉強会や講習を受ける機会がありましたか(参加の有無ではありません)	21	1	0	1
3-4	定期的な面談を受け、子どもについての共通認識と適切な助言を受けられていますか	21	2	0	0
3-5	保護者同士の情報交流の機会があると感じますか	20	1	1	1
3-6	定期的に会報等を発行し活動内容、行事予定、連絡体制の情報を得られていますか	22	1	0	0
3-7	子どもや保護者が職員と適切にコミュニケーションできていますか	21	2	0	0
3-8	個人情報の取り扱いがしっかりなされていると感じますか	23	0	0	

#### 【利用者のご意見】

◎いつも丁寧にご説明やアドバイスをしてくださり、毎回、効果のある素晴らしい内容でしたので救われていました。よく、うちの子を見てくださっていて驚きと感謝の思いでいっぱいでした。

◎月1回面談ができ、相談しやすく助かります。

◎定期的な面談があることで保護者の安心につながる。

◎グループ面談で、他の保護者の方とのつながりや情報共有の機会が得られる。

◎待合室やグループ面談を通して保護者同士の交流がある。

◎今年度からのグループ面談により、保護者同士が話しやすくなったと感じます。

◎待合室で保護者同士で話すのも癒しであり楽しみでもありました

◎毎月のおたよりで予定やお知らせを知り、発行を楽しみにしていました。

**【ぶっくとしての対応】**

- ◎グループ面談を開始したことで、保護者間のコミュニケーションが増えました。
- ◎今後も話し合いによる情報共有を率先して行っていきます。

4. 非常時等の対応					
	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
4-1	各種情報が閲覧できるようになり、周知されていると感じますか	14	2	0	5

**【利用者のご意見】**

- ◎体制が少し不安定に感じる。通えない時期が続いたのでコロナ後の体制を強化してほしいです。

**【ぶっくとしての対応】**

- ◎感染症の発生時は、お子様や職員の健康、安全を守るためにお休みをいただくことも必要になります。体制強化と療育の質の安定と向上は必要だと認識しています。
- ◎各種情報は待合スペースにファイルで用意していますので周知していきます。

5. 満足度					
	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
5-1	子どもは通所を楽しみにしていますか	20	1	0	0
5-2	ぶっくの療育に満足していますか	21	0	0	0

**【利用者のご意見】**

- ◎何よりも一番楽しみに通っています。本当に安心できる場所なのだと思います。
- ◎通所をとっても楽しみにしており、部屋に入ると、うれしさ爆発という感じです。
- ◎通所の前夜、当日の朝に「ぶっく行く」と必ず言っていました。他の所に行く予定と子どもがそのように言うことはなく「ぶっく」は特別に感じていたようです。
- ◎とても行きたがっています。

**【ぶっくとしての対応】**

- ◎お子様が楽しみにするプログラム、保護者様には満足いただけるようにつとめたいと思います。

## 職員アンケートの結果

(アンケート回答 10 名)

1. 環境と体制			
	項目	はい	いいえ
1-1	利用定員とスペースのバランスは適切か	10	0
1-2	職員の配置数は適切か	10	0
1-3	設備が使いやすく、利用者たちが活動しやすいか	10	0

### 【職員の意見】

(1-1)

◎規定通りで、適切だと思う。

(1-2)

◎多めに配置できている。

(1-3)

◎使いやすく活動しやすいようにチェックし工夫している。

### 【ふっくとしての対応】

◎今年度は新型コロナウイルス感染症による職員の不足が一時期起きました。職員の人数と質の安定した確保を目標とします。

2. 業務改善			
	項目	はい	いいえ
2-1	業務改善に職員が参加できているか	10	0
2-2	事業所向け自己評価、利用者向け評価表の結果をもとに適切に業務改善できているか	10	0
2-3	事務所の自己評価がネットなどに適切に公開できているか	10	0
2-4	職員のスキルアップの機会を積極的に提供されているか	10	0

**【職員の意見】**

(2-1)

◎会議で意見を募ったり、日々話し合いながら進めていけています。

(2-4)

◎研修はよいものがあればすすめています。

**【ふっくとしての対応】**

◎今後も適切な業務改善と情報共有を行います。

3. 支援提供			
	項目	はい	いいえ
3-1	適切なアセスメントの実行とその結果をもとに適切な児童発達支援計画が作成できているか	10	0
3-2	児童発達支援計画は適切にかつ、具体的な支援内容になっているか	10	0
3-3	児童発達支援計画にそった支援が行われているか	10	0
3-4	活動プログラムの立案はチームで行っているか	10	0
3-5	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10	0
3-6	支援開始前に職員間で必ず支援内容や役割分担の確認をしているか	10	0
3-7	支援終了後に職員間で必ず振り返りと気づいた点の共有をしているか	10	0
3-8	支援の記録をとり、支援の改善、検証を行っているか	10	0
3-9	定期的にモニタリングを行い支援計画の見直しをしているか	10	0

**【職員の意見】**

(3-1)

◎日々アセスメントを意識して療育を行っています。

(3-2)

◎適切かつ具体的な支援内容になるよう心がけています。。

(3-3)

◎計画に沿った支援を心掛け、それ以上に気づいた部分は職員間で話し合い支援しています。

(3-6)

◎毎日、行っています

(3-7)

◎毎回必ず行い、支援の質を上げるよう努力しています。

【ぷっくとしての対応】

◎ぷっくでは、支援を行う上で、情報の共有は大切な位置づけとなっています。療育前の打ち合わせで、お子様の特性にあわせたアプローチ、方向性と職員の動きを決め、療育後の振り返りで効果を確認し、常に療育の質が向上するようにしています。

4. 関係機関や保護者との連携			
	項目	はい	いいえ
4-1	関係機関と連携した支援を行っているか	10	0
4-2	他の児童発達支援センター、事業所などの専門機関と連携し、助言、研修を受けているか	10	0
4-3	自治体等が開催する障害児向けの会議等に積極的に参加しているか	10	0
4-4	保護者の対応力向上のため、保護者に対し家族支援プログラムの支援を行っているか	10	0

【職員の意見】

(4-2)

◎研修の機会は必ず確保したいと思っています。

(4-3)

◎意見交換ができてありがたいです。顔を合わせることができるので、今後の連携に結び付けていきやすいです。

(4-4)

◎お話し合いで、必要な方に個々に支援しています。

【ぷっくとしての対応】

専門機関との連携、会議への参加、研修受講は継続して行っています。

5. 保護者への説明責任等			
	項目	はい	いいえ
5-1	運営規程、契約について丁寧な説明を行っているか	10	0
5-2	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容を説明し、保護者から内容の同意を得ているか	10	0
5-3	定期的に保護者からの相談に応じ、必要な助言、支援を行っているか	10	0
5-4	保護者同士の連携を支援しているか	10	0
5-5	子どもや保護者が相談できる体制を整え、迅速かつ適切に対応しているか	10	0
5-6	定期的に会報等を発行し活動内容、行事予定、連絡体制の情報を発信しているか	10	0
5-7	個人情報の取り扱いには細心を払っているか	10	0

**【職員の意見】**

(5-3)

◎月一回お話し合いを実施しています。

(5-4)

◎グループお話し合いで連携を意識しています。

**【ぶっくとしての対応】**

◎保護者同士の交流、連携については気軽に参加していただけるように、今後も検討、企画していきたいと思ひます。

6. 非常時等の対応			
	項目	はい	いいえ
6-1	各種マニュアルを職員、保護者に周知し、発生を想定した訓練を実施できているか	10	0
6-2	非常災害の発生にそなえ、定期的に避難、救出訓練等を行っているか	10	0
6-3	事前に子どもの服薬、予防接種、てんかん発作等の情報、状況を確認しているか	9	1
6-4	ヒヤリハット事例を集め、事業所内で共有しているか	9	1
6-5	虐待防止のための研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0
6-6	身体拘束について組織的に決定し、利用者に事前に説明し、了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	10	0

**【職員の意見】**

特になし

**【ぷっくとしての対応】**

◎非常時の対応含め、各種情報の確認、周知は継続して行います。

今年は例年と比べ、ややアンケートの提出率が低く、ご意見も少なめでした。

ご利用者様からのご意見を参考に、よりよく事業所を運営し、より質の高いサービスを提供して行きたいと考えております。

これからもよろしく願いいたします。